

4 米

(1) 国際的な米需給の概要（詳細は右表を参照）

〈米国農務省（USDA）の見通し〉

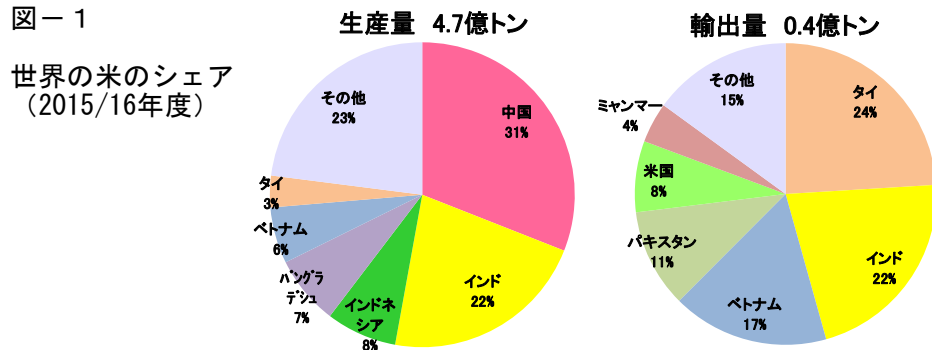
【生産量】 2015/16年度 前年度比 ↓ 前月比 ↓
 生産量は、中国で前年度より増加するものの、タイ、インド等で減少することから、世界全体では減少し、470.6百万トンとなる見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で下方修正され、国別にはバングラディッシュ、ベトナム、タイで下方修正された。

【消費量】 2015/16年度 前年度比 ↑ 前月比 ↓
 消費量は、中国等で前年度より増加することから、世界全体では増加し、史上最高の484.1百万トンとなる見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で下方修正され、国別にはインド、タイ、バングラディッシュで下方修正、ベトナムでわずかに下方修正された。

【貿易量】 2015/16年度 前年度比 ↓ 前月比 ↓
 世界全体の貿易量は、前年度より減少し、41.6百万トンとなる見込み。
 国別には、輸出国では、ベトナム、パキスタン等で増加し、インド等で減少する見込み。輸入国では、中国等で増加し、ナイジェリア等で減少する見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体でわずかに下方修正され、輸出国では、インドで上方修正、パキスタンで下方修正、輸入国ではEUで上方修正された。

【期末在庫量】 2015/16年度 前年度比 ↓ 前月比 ↓
 期末在庫量は、前年度より減少し、90.2百万トンとなる見込み。
 国別には、フィリピン、中国で在庫が積み増しされるものの、インド、タイ、インドネシア、日本、パキスタンで在庫が取り崩される見込み。世界全体の期末在庫率は、18.6%と前年度より低下する見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で下方修正され、国別には、タイで上方修正、日本、フィリピンで下方修正された。

図－1



表－1 世界の米需給（米国農務省）

(単位:百万精米トン)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予 測 値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生 産 量	478.4	478.8	470.6	▲ 0.5	▲ 1.7
中国	142.5	144.6	145.8	-	0.8
インド	106.7	105.5	103.0	-	▲ 2.4
インドネシア	36.3	35.6	35.3	-	▲ 0.7
バングラディッシュ	34.4	34.5	34.5	▲ 0.1	-
ベトナム	28.2	28.2	28.1	▲ 0.1	▲ 0.2
タイ	20.5	18.8	15.8	▲ 0.1	▲ 15.7
ミャンマー	12.0	12.6	12.2	-	▲ 3.2
消 費 量	481.6	482.5	484.1	▲ 0.2	0.3
中国	146.3	148.0	150.3	-	1.6
インド	98.7	98.2	98.5	▲ 0.4	0.3
インドネシア	38.5	38.3	38.1	-	▲ 0.5
バングラディッシュ	34.9	35.1	35.4	▲ 0.1	0.9
ベトナム	22.0	22.0	21.9	▲ 0.0	▲ 0.7
フィリピン	12.9	13.2	13.3	-	0.4
タイ	10.9	10.9	11.0	▲ 0.2	0.9
貿 易 量 (輸出)	42.2	44.0	41.6	▲ 0.0	▲ 5.4
タイ	11.0	9.8	10.0	-	2.2
インド	10.6	12.2	9.0	0.4	▲ 26.5
ベトナム	6.3	6.6	7.0	-	5.9
パキスタン	3.2	4.0	4.4	▲ 0.2	10.0
米国	3.0	3.2	3.2	-	▲ 0.9
ミャンマー	1.7	1.8	1.8	-	2.9
カンボジア	1.0	1.2	0.9	-	▲ 21.7
(輸入)					
中国	4.0	4.7	5.0	-	6.4
ナイジェリア	2.8	3.5	2.5	-	▲ 28.6
イラン	1.6	1.4	1.5	-	7.4
EU	1.5	1.7	1.6	0.1	▲ 5.9
サウジアラビア	1.4	1.4	1.5	-	2.1
フィリピン	1.2	1.8	2.0	-	11.1
インドネシア	1.2	1.2	2.0	-	66.7
期 末 在 庫 量	107.4	103.6	90.2	▲ 0.3	▲ 13.0
中国	46.8	47.6	47.8	-	0.3
インド	22.8	17.8	13.3	-	▲ 25.3
タイ	11.7	10.1	5.2	0.2	▲ 48.5
インドネシア	5.5	4.0	3.2	-	▲ 20.2
日本	3.0	2.8	2.5	▲ 0.7	▲ 11.7
フィリピン	1.7	2.2	2.3	▲ 0.2	4.5
パキスタン	1.3	1.6	1.1	-	▲ 30.8
期 末 在 庫 率	22.3%	21.5%	18.6%	▲ 0.1	▲ 2.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
 「Grain: World Markets and Trade」、
 「PS&D」(12 April 2016)

(2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

ア インド

【需給状況】(詳細は右表を参照)

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収が減少することから、前年度より減少し、103.0百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、98.5百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、9.0百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も12.3%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2013/14年度の輸出量で上方修正、消費量で下方修正、2014/15年度の輸出量で上方修正、消費量で下方修正、2015/16年度の輸出量で上方修正、消費量で下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

農業市場情報システム(AMIS)「Market Monitor」(2016.4.7)によれば、2015/16年度のラビ作(乾季作、11月～翌年5月頃)の作柄はまちまち。これは、乾燥により、稲の生育に必要な水分量を確保できていないため。

【貿易情報・その他】

IGC「Grain Market Report」(2016.4.1)によれば、2016年の輸出量は生産量の減少と国内消費量の増加のため2015年より減少し、8.9百万トンとなる見込み。

イ タイ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収がいずれも減少することから、前年度より減少し、15.8百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、11.0百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より増加し、10.0百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度並みの0.3百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率は24.8%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2014/15年度の消費量で下方修正、期末在庫量で上方修正、2015/16年度の実産量、消費量で下方修正された。結果として、期末在庫量が上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

農業市場情報システム(AMIS)「Market Monitor」(2016.4.7)によれば、2015/16年度の乾季作(11月～翌年4月)の作柄は、エルニーニョ現象による降水・かんがい用水不足のため不良となっている。また、北部と中央部で、病虫害の発生が懸念されている。

世界の生産量シェア 2位 (2015/16年度 21.9%)
輸出量シェア 2位 (2015/16年度 21.6%)

表-2 インドの米需給(市場年度:10月～翌年9月)

(単位:百万精米トン)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	106.7	105.5	103.0 (103.8)	-	▲ 2.4
消費量	98.7	98.2	98.5 (99.3)	▲ 0.4	0.3
輸出量	10.6	12.2	9.0 (11.3)	0.4	▲ 26.5
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	…
期末在庫量	22.8	17.8	13.3 (20.5)	-	▲ 25.3
期末在庫率	20.8%	16.1%	12.3% (18.5%)	-	▲ 3.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	44.14	43.74	42.75 (…)	-	▲ 2.3
単収(もみt/ha)	3.62	3.62	3.61 (…)	-	▲ 0.3

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 April 2016)
FAO「Food Outlook (October 2015)」

世界の生産量シェア 6位 (2015/16年度 3.4%)
輸出量シェア 1位 (2015/16年度 24.0%)

表-3 タイの米需給(市場年度:翌年1月～翌年12月)

(単位:百万精米トン)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	20.5	18.8	15.8 (21.3)	▲ 0.1	▲ 15.7
消費量	10.9	10.9	11.0 (16.6)	▲ 0.2	0.9
輸出量	11.0	9.8	10.0 (9.8)	-	2.2
輸入量	0.3	0.3	0.3 (0.3)	-	-
期末在庫量	11.7	10.1	5.2 (16.2)	0.2	▲ 48.5
期末在庫率	53.6%	48.8%	24.8% (61.4%)	1.2	▲ 24.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	10.92	10.27	9.44 (…)	▲ 0.02	▲ 8.1
単収(もみt/ha)	2.84	2.77	2.53 (…)	▲ 0.02	▲ 8.7

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 April 2016)
FAO「Food Outlook (October 2015)」

ウ ベトナム

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、前年度より減少し、28.1百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、21.9百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より増加し、7.0百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度並みの0.4百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も2.1%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2014/15年度の消費量で下方修正、期末在庫量で上方修正、2015/16年度の生産量で下方修正、消費量でわずかに下方修正された。結果として、期末在庫量がわずかに下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

農業市場情報システム (AMIS) 「Market Monitor」 (2016. 4. 7) によれば、2015/16年度の冬春作 (乾季作、北部で11月～翌年7月頃、南部で12月～翌年5月頃) の収穫が開始された。北部では作柄は良好なもの、主要産地である南部では、メコンデルタで塩害が発生しているため、作柄はまちまち。

【貿易情報・その他】

国際穀物理事会 (IGC) 「Grain Market Report」 (2016. 4. 1) によれば、2016年の輸出量は7.1百万トン (前年7.0百万トン) となる見込み。

エ 中国

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、前年度より増加し、145.8百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、150.3百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より増加し、0.4百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より増加し、5.0百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加するものの、消費量の増加が大きく、期末在庫率は31.7%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

農業市場情報システム (AMIS) 「Market Monitor」 (2016. 4. 7) によれば、二期作地帯では、2016/17年度の早植えの播種期。南部の一期作地帯では、まだ作期が開始されていない。

【貿易情報・その他】

国際穀物理事会 (IGC) 「Grain Market Report」 (2016. 4. 1) によれば、近年、中国は米を大量に輸入しているが、これは主要輸出国のFOB価格が、中国国内産米の価格より安いためと考えられており、本年も前年並みとなる見込み。

世界の生産量シェア 5位 (2015/16年度 6.0%)
輸出量シェア 3位 (2015/16年度 16.8%)

表-4 ベトナムの米需給 (市場年度: 翌年1月～翌年12月)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	28.2	28.2	28.1 (29.0)	▲ 0.1	▲ 0.2
消費量	22.0	22.0	21.9 (21.7)	▲ 0.0	▲ 0.7
輸出量	6.3	6.6	7.0 (7.8)	-	5.9
輸入量	0.3	0.4	0.4 (0.5)	-	-
期末在庫量	1.0	1.0	0.6 (3.0)	▲ 0.0	▲ 36.5
期末在庫率	3.5%	3.4%	2.1% (10.2%)	▲ 0.1	▲ 1.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.79	7.82	7.68 (…)	0.02	▲ 1.8
単収(もみt/ha)	5.79	5.76	5.85 (…)	▲ 0.04	1.6

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」 (12 April 2016)
FAO 「Food Outlook (October 2015)」

世界の生産量シェア 1位 (2015/16年度 31.0%)
輸入量シェア 1位 (2015/16年度 12.6%)

表-5 中国の米需給 (市場年度: 7月～翌年6月)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	142.5	144.6	145.8 (143.2)	-	0.8
消費量	146.3	148.0	150.3 (142.2)	-	1.6
輸出量	0.3	0.4	0.4 (0.5)	-	▲ 18.6
輸入量	4.0	4.7	5.0 (6.2)	-	6.4
期末在庫量	46.8	47.6	47.8 (92.7)	-	0.3
期末在庫率	31.9%	32.1%	31.7% (65.0%)	-	▲ 0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	30.31	30.31	30.21 (…)	-	▲ 0.3
単収(もみt/ha)	6.72	6.81	6.89 (…)	-	1.2

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」 (12 April 2016)
FAO 「Food Outlook (October 2015)」

オ 米国

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収が減少することから、前年度より減少し、6.1百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、3.9百万トンとなる見込み。

輸出量は、ほぼ前年度並みの3.2百万トンとなる見込み。

輸入量は、ほぼ前年度並みの0.8百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も19.6%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、輸入量でわずかに下方修正された。結果として、期末在庫量がわずかに下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国農務省(USDA)「Prospective Plantings」(2016.3.31)によれば、2016/17年度の作付意向面積は、前年度より17%拡大し、1.24百万ヘクタールと示された。これは、2010/11年度以来の広い面積。

USDA「Crop Progress」(2016.4.18)によれば、4月17日現在、主要6州の作付進捗率は50%と、前年同期及び平年同期を10%ほど上回り、順調に進展している。なお、発芽の進捗率は20%で平年並み。

カ ブラジル

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積が減少することから、前年度より減少し、7.6百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、7.8百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、0.8百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より増加し、0.8百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も5.2%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2014/15年度の輸入量で下方修正、期末在庫量で下方修正、2015/16年度の輸入量で上方修正、生産量、消費量、輸出量で下方修正された。結果として、期末在庫量が下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2016.4.1)によれば、現在、収穫が進展しているところ、生産量は前対年度比で減少し、2015/16年度は7.6百万トン(前年度8.5百万トン)となる見込み。原因は、播種期に主要産地で豪雨があり、作付遅延の発生及び農作業の進展が阻害されたため。

ブラジル食料供給公社(CONAB)の4月報告(2016.4.7)によれば、米の主要産地であるリオグランデ・ド・スル州では、豪雨の影響により、作付面積は108万ヘクタール(前年112万ヘクタール)へ減少し、また単収も低下する見込み。

(世界の輸出货量シェア 5位(2015/16年度 7.6%))

表-6 米国の米需給(市場年度:8月~翌年7月)

(単位:百万精米トン)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	6.1	7.1	6.1 (6.0)	-	▲ 14.1
消費量	4.0	4.2	3.9 (4.0)	-	▲ 7.5
輸 出 量	3.0	3.2	3.2 (3.4)	-	▲ 0.9
輸 入 量	0.7	0.8	0.8 (0.8)	▲ 0.0	▲ 3.8
期末在庫量	1.0	1.6	1.4 (1.6)	▲ 0.0	▲ 11.0
期末在庫率	14.7%	21.0%	19.6% (21.6%)	▲ 0.1	▲ 1.4

(参考)

収穫面積(百万ha)	1.00	1.19	1.04 (…)	-	▲ 12.6
単収(もみt/ha)	8.62	8.49	8.37 (…)	-	▲ 1.4

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 April 2016)
FAO「Food Outlook (October 2015)」

表-7 ブラジルの米需給(市場年度:翌年4月~翌々年3月)

(単位:百万精米トン)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	8.3	8.5	7.6 (8.5)	▲ 0.3	▲ 10.3
消費量	7.9	7.9	7.8 (8.2)	▲ 0.1	▲ 1.1
輸 出 量	0.8	0.9	0.8 (0.8)	▲ 0.1	▲ 17.6
輸 入 量	0.5	0.4	0.8 (0.4)	0.1	116.2
期末在庫量	0.6	0.6	0.5 (0.6)	▲ 0.1	▲ 29.7
期末在庫率	7.3%	7.2%	5.2% (6.7%)	▲ 0.8	▲ 2.0

(参考)

収穫面積(百万ha)	2.40	2.30	2.03 (…)	▲ 0.12	▲ 11.7
単収(もみt/ha)	5.09	5.42	5.52 (…)	0.11	1.8

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 April 2016)
FAO「Food Outlook (October 2015)」

キ フィリピン

表－8 フィリピンの米需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO		対前年度 増減率(%)
			前月予測 からの変更	前月予測 からの変更	
生産量	11.9	11.9	11.4 (12.0)	▲ 0.2	▲ 4.8
消費量	12.9	13.2	13.3 (14.0)	-	0.4
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸入量	1.2	1.8	2.0 (1.9)	-	11.1
期末在庫量	1.7	2.2	2.3 (2.6)	▲ 0.2	4.5
期末在庫率	13.2%	16.7%	17.4% (18.6%)	-	0.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.80	4.71	4.62 (…)	▲ 0.03	▲ 1.9
単収(もみt/ha)	3.92	4.02	3.90 (…)	▲ 0.03	▲ 3.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 April 2016)
FAO「Food Outlook (October 2015)」

AMIS「Market Monitor」(2016.4.7)によれば、2015/16年度の乾季米の作柄は、北部では良好なもの、南部では乾燥型の天候が長引いて高温と水不足が発生し、作柄はまちまち。

ク インドネシア

(世界の生産量シェア 3位 (2015/16年度 7.5%))
表－9 インドネシアの米需給(市場年度：翌年1月～翌年12月)

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO		対前年度 増減率(%)
			前月予測 からの変更	前月予測 からの変更	
生産量	36.3	35.6	35.3 (45.8)	-	▲ 0.7
消費量	38.5	38.3	38.1 (46.5)	-	▲ 0.5
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	…
輸入量	1.2	1.2	2.0 (0.9)	-	66.7
期末在庫量	5.5	4.0	3.2 (6.3)	-	▲ 20.2
期末在庫率	14.3%	10.3%	8.3% (13.5%)	-	▲ 2.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	12.10	11.83	11.66 (…)	-	▲ 1.4
単収(もみt/ha)	4.72	4.73	4.77 (…)	-	0.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 April 2016)
FAO「Food Outlook (October 2015)」

AMIS「Market Monitor」(2016.4.7)によれば、2015/16年度の雨季米の作柄は良好。しかし、エルニーニョ現象の影響によるモンスーン到来の遅延があり、用水を引ける農地が限られたため、作付面積が減少した。

ケ 豪州

表－10 豪州の米需給（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年 度	2013/14	2014/15 (見込み)	2015/16		
			予測値、()はFAO		対前年度 増減率(%)
			前月予測 からの変更	前月予測 からの変更	
生産量	0.6	0.5	0.2 (0.5)	-	▲ 58.5
消費量	0.4	0.4	0.3 (0.3)	-	▲ 8.3
輸出量	0.4	0.4	0.2 (0.4)	-	▲ 51.4
輸入量	0.2	0.2	0.2 (0.2)	-	20.0
期末在庫量	0.2	0.2	0.1 (0.2)	-	▲ 62.6
期末在庫率	32.5%	24.9%	13.3% (28.6%)	-	▲ 11.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.08	0.07	0.03 (…)	-	▲ 57.7
単収(もみt/ha)	10.92	10.20	10.00 (…)	-	▲ 2.0

資料：USDA「Grain: World Markets and Trade」、
「PS&D」(12 April 2016)
FAO「Food Outlook (October 2015)」

IGC「Grain Market Report」(2016.1.21)によれば、かんがい用水量の不足により、播種作業の進展は阻害され、播種面積は2009/10年度以来の低水準となる見込み。2015/16年度の生産量は22万トン（前年度46.7万トン）と、前年度比60%減となる見込み。

写真 ブラジル中央部 マットグロソ州（2016年4月11日撮影）

同ほ場では陸稲を栽培。なお、ブラジルの米主要産地であるリオグランデ・ド・スル州では、水田で水稻を栽培。



写真提供：Se. Lucio Adalberto Motta Filho